

形容詞.3

名前

解答

解答

補助形容詞：すぐ上の文節を補助する役割を持つ形容詞。

形式形容詞ともいう。

「ない」、「よい」、「ほしい」

例 暑くない。

例 食べてよい。

※ 本来の「ない」「よい」の意味ではなく、上の文節の補助的な役割を果たしている。

(1) 次のア、エの文のうち、補助形容詞が使われているものを一つ選べ。

ア そんな失礼な話はない。

(イ)

イ 雨が降らないから、傘はいらないよ。

ウ こんなチャンスは二度とないだろう。

エ 彼女は遅刻しないように気をつけている。

ア この靴はとてもよいデザインですね。

(エ)

イ 明日は天気がよいといいな。

ウ その子はよい成績をとった。

エ あなたは無理せず、歩いてよいですよ。

(2) 次のア、エの文のうち、補助形容詞が使われているものを選べ。

ア もつと早く知らせてほしい。

(ア・エ)

イ わたしは新しいかばんがほしい。

ウ その人は助けをほしいと願っている。

エ 先生には話を聞いてほしいと思う。

(3) 次の線部の形容詞の活用形は何か。

① 今日はとても寒く感じる。

連用形

② その図鑑だが、高ければ買えない。

仮定形

③ この花はとても美しい。

終止形

④ 父はうれしいとき、とてもよく笑う。

連体形

⑤ この問題は中学生には難しかろう。

未然形

⑥ 皆さんのその姿は、たのもしゅうございます。

連用形

⑦ 失敗しても悔しくない。

連用形

⑧ 新しいければ、それを使いましょう。

仮定形

